

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	2年	前期		
授業科目	母子保健学					
選択／必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	大川 洋子					
メールアドレス	教務学生課に連絡すること。	オフィスアワー	授業前後			

授業目的	我が国における母子保健の歴史的変遷や現状を把握し、母子保健の意義を理解するとともに、母子保健の今日的課題について理解を深める。
授業概要	母子保健の歴史的な変遷と母子保健統計、ならびに健全な母性の育成と健康作りに向けた母子保健行政や施策の現状と課題について教授する。女性の生涯にわたるリプロダクティブヘルス/ライツ(性と生殖に関わる健康と権利)の視点で我が国における母子保健について教授する。
授業内容	第1回 日本の産育習俗と母子保健の歴史的変遷 第2回 母子保健統計の指標の理解 第3回 母子保健統計による日本の動向 第4回 福井県の母子保健統計 第5回 リプロダクティブヘルス/ライツからみた母子保健 第6回 母子保健に関する関係法規と施策 第7回 母子保健法、労働基準法等の具体的内容 第8回 まとめ
教科書 参考書等	教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護 [1] 母性看護学概論 医学書院 参考書：母子保健の主なる統計 公益財団法人母子衛生研究会 平成31年3月発行
成績評価 基準・方法	筆記試験 100点満点
履修要件	特になし
留意事項 その他	自分の母子健康手帳を入手出来る人は、一度目を通しておいってください。 本科目を修得していないと、母性看護学実習は履修できません。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師および助産師としての臨床経験を活かして、母子保健学の基本的な知識について講義を行う。